

第1 事業報告書

平成27年度公益財団法人広島市農林水産振興センター事業報告書
(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

1 設立目的及び概況

(1) 設立目的

広島市における農林水産業等の振興を図るとともに、農山漁村地域の持つ公益的機能を活用した事業を推進し、もって活力ある農山漁村地域の確立と健康で豊かな市民生活の向上に寄与することを目的とする。

(2) 概況

ア 設立年月日

平成4年4月1日 財団法人広島市農業振興センターとして設立
平成10年4月1日 財団法人広島市林業振興公社と統合
平成17年4月1日 財団法人広島市水産振興協会と統合
平成24年4月1日 公益財団法人へ移行

イ 基本財産

設立当初、基本財産は、5,000万円(全額広島市出資)であったが、平成10年4月1日財団法人広島市林業振興公社との統合に伴い、同財団から3,000万円を寄附受領した。また、平成17年4月1日財団法人広島市水産振興協会との統合に伴い、広島市から1,000万円の追加出資があったことにより、現在の基本財産は、9,000万円(うち広島市出資6,000万円)である。

ウ 実施事業

- (ア) 農林水産業の振興に関する指導及び普及啓発
- (イ) 農林水産業に関する調査及び試験研究
- (ロ) 水源涵養、緑地保全等公益的機能の活用に関する指導及び普及啓発
- (エ) 農山漁村地域の担い手の育成及び指導
- (オ) 農地利用集積円滑化に関する事業
- (カ) 水産資源の維持増殖に必要な重要魚介類等の種苗生産
- (キ) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 役員等の状況

(1) 役員等の数

理事長 1人
常務理事 1人
理事 8人
監事 2人
評議員 7人

(2) 理事・監事

ア 事業年度中の理事・監事の異動は、次のとおりである。

異動年月日	役職	氏名	異動内容
平成27年4月1日	理事長	国本善平	就任
平成27年4月1日	常務理事	中ノ殿 潔	就任

平成28年3月31日	理事長	国本善平	辞任
平成28年3月31日	監事	手島健志	辞任

イ 平成28年3月31日現在の理事・監事は、次のとおりである。

役職	氏名	就任年月日
理事長	国本善平	平成27年4月1日
常務理事	中ノ殿 潔	平成27年4月1日
理事	胡子昌宏	平成26年6月12日
理事	甲斐智子	平成24年4月1日
理事	吉川清二	平成24年4月1日
理事	倉本 守	平成24年4月1日
理事	島本啓司	平成24年4月1日
理事	鈴木修治	平成24年4月1日
理事	福田五郎	平成24年4月1日
理事	向井田輝紀	平成24年4月1日
監事	井手下文子	平成24年4月1日
監事	手島健志	平成24年4月1日

(3) 評議員

ア 事業年度中の評議員の異動はない。

イ 平成28年3月31日現在の評議員は、次のとおりである。

役職	氏名	就任年月日
評議員	浅枝俊治	平成24年4月1日
評議員	伊東祐保	平成24年4月1日
評議員	河野芳徳	平成24年4月1日
評議員	後藤慎太郎	平成24年4月1日
評議員	中川和義	平成24年4月1日
評議員	森 正記	平成26年7月1日
評議員	山本雅子	平成24年4月1日

3 理事会等の開催

(1) 理事会

開催年月日	開催回数	付議事項	審議結果
平成27年4月1日	平成27年第2回	理事長（代表理事）の選定について	選定
		常務理事の選定について	選定

平成27年5月21日	平成27年第3回	平成26年度公益財団法人広島市農林水産振興センター事業報告及び決算	承認
		定時評議員会の招集について	原案可決
		平成26年度における職員の職務に係る倫理の保持に関する状況等について「報告」	終了
		平成27年度における職務の執行状況について「報告」	終了
平成28年3月30日	平成28年第1回	平成28年度公益財団法人広島市農林水産振興センター事業計画及び収支予算	承認
		常勤役員の報酬等について	承認
		平成27年度における職務の執行状況について「報告」	終了

(2) 評議員会

開催年月日	開催回数	付議事項	審議結果
平成27年4月1日	平成27年第1回	理事の選任について	選任
平成27年6月5日	平成27年第2回	平成26年度公益財団法人広島市農林水産振興センター事業報告「報告」	終了
		平成26年度公益財団法人広島市農林水産振興センター決算	承認

4 定款の変更

事業年度中の定款の変更はない。

5 職員の状況

平成28年3月31日現在の職員の状況は、次のとおりである。(単位：人)

区分	事務職員						小計	技術職員					小計	業務員	非常勤職員	合計
	部長級	課長級	補佐級	係長級	主事	部長級		課長級	補佐級	係長級	技師					
農林部	調整課			2	3	5	1	1		1		3		3	11	
	農業振興課							1	2	1	9	13			13	
	農林体験推進課							1	1	1	6	9		2	11	
水産部	普及指導課				1	1	1		1		2	4		2	7	
	栽培漁業課						1		1	1	1	4	2	2	8	
合計				2	4	6	3	3	5	4	18	33	2	9	50	

6 事業の実施状況

次の事業を実施した。

(1) 公益目的事業

133,644,139円

次のとおり公益目的事業を実施した。

ア 農業の担い手の育成及び試験研究（公益目的事業1）

41,694,663円

区分	事業内容等	決算額
担い手の育成	<p>“ひろしま活力農業” 経営者育成 本格的な農業経営を行う若い農業者を育成するため、研修を行うとともに農地の幹旋や営農支援を行った。</p> <p>(ア) 研修活動 a 18期生1年目基礎研修 3人 講義及び実習 236日 b 17期生2年目実地研修 3人 就農予定地(安佐町2人・安芸太田町1人)での営農研修</p> <p>(イ) 19期生募集・選考 a 応募 7人 b 選考 3人 (広域連携による安芸太田町1人を含む)</p> <p>(ウ) 農地の確保・幹旋 農地の利用権設定 18期生 2人 17,636㎡</p> <p>(エ) 経営確立支援 営農支援講習等 受講者 1～17期生 延べ25人</p>	千円 6,164
	<p>「スローライフで夢づくり」 定年就農者育成（指定管理業務） 定年後の就農希望者等への研修を行うとともに、農地の幹旋や就農者への営農支援を行った。</p> <p>(ア) 研修活動 11期生研修 3人 講義及び実習 131日</p> <p>(イ) 12期生募集・選考 a 応募 12人 b 選考 8人</p> <p>(ウ) 農地の確保・幹旋 農地の利用権設定 11期生 3人 3,922㎡</p> <p>(エ) 就農後の活動支援 営農支援講習等 受講者 1～10期生 延べ66人</p>	千円 381

区 分	事 業 内 容 等	決算額
担い手の育成	<p>ふるさと帰農者育成 農家出身者を対象に栽培や販売の研修などを行った。</p> <p>(ア) 研修活動 10期生研修 8人 講義、実習及び先進農家見学など 94日</p> <p>(イ) 11期生募集・選考 a 応募 12人 b 選考 12人 (広域連携による江田島市帰農1人を含む)</p> <p>(ウ) 就農後の活動支援 営農支援講習等 受講者 1～9期生 延べ100人</p>	千円 203
	<p>“チャレンジ”女性農業者育成 農家の女性を対象に野菜・花きの生産、加工、販売の研修などを行った。</p> <p>(ア) 研修活動 6期生研修 2人 講義、実習及び先進農家見学など 94日</p> <p>(イ) 7期生募集・選考 a 応募 5人 b 選考 5人</p> <p>(ウ) 就農後の活動支援 営農支援講習等 受講者 1～5期生 延べ34人</p>	千円 136
	<p>“まかせんさい”広島市女性農業士認定 広島市が認定した女性農業士への研修などを行った。</p> <p>(ア) 研修活動 10期生2年目研修 3人 4回 a 講習会「表現力の向上について」など2回 b 市内農家見学 2回</p> <p>(イ) 活動事例調査 庄原市、山口県 2回</p> <p>(ウ) 情報誌発行 「広島市女性農業士だより」 1回発行 女性農業士及び関係機関へ配布 60部</p>	千円 145

区 分	事 業 内 容 等	決算額
担い手の育成	<p>広島市農業経営改善支援センターの運営 認定農業者の経営改善に関する相談、支援研修の開催、情報収集・提供活動などを行った。 認定者数 23人（新規4人、再認定19人） 認定農業者総数 103経営体</p> <p>(ア) 窓口相談及び経営改善支援活動 a 経営改善に関する相談 23件 b 研修会（簿記、税務等）3回 延べ39人 c 広島市認定農業者協議会総会の開催 2月</p> <p>(イ) 情報収集提供活動等 a 全国農業担い手サミットへの参加（宮崎県） 3人 b 経営改善フォローアップ活動 9回</p>	千円 166
	<p>農地利用集積円滑化 新規就農者や農事組合法人など、農業の担い手へ農地の利用集積を行った。</p> <p>(ア) ひろしま活力農業経営者 1～18期生 32人 152筆 264,569㎡</p> <p>(イ) 「スローライフで夢づくり」定年就農者 1～10期生 41人 104筆 64,216㎡</p> <p>(ウ) 農事組合法人 a よしやま 237筆 305,568㎡ b 戸山の郷中王 349筆 127,768㎡</p> <p>※7/31本センターと合意解約後、県農地中間管理機構へ移行</p>	千円 8,810
試験研究	<p>農業に関する試験研究（指定管理業務） 広島市農業振興センターにおいて、野菜・花き等の栽培試験及び普及啓発を行った。</p> <p>(ア) 野菜・花き等の栽培試験及び普及啓発 a 葉物野菜の栽培試験 コマツナの品種比較 b 直売所向けの野菜・花きの栽培展示 45品目 c 効率的な栽培システムの実証展示 3件</p> <p>(イ) 農家ほ場の土壌診断 上ドック 1,283件、一般分析 892件</p> <p>(ウ) 園芸バイオ技術による野菜や花き等の優良種苗の生産供給 フキ、サツマイモなど5品目 4,000株</p> <p>(エ) 施設の維持管理 施設等の保守点検や維持補修を行った。 敷地面積 16,147㎡ 事務所棟、試験ほ場、ガラス温室など 25棟</p>	千円 25,690

イ 農林業に関する普及啓発等（公益目的事業2）

57,513,179円

区分	事業内容等	決算額															
普及啓発	<p>“ひろしまそだち”地産地消推進</p> <p>“ひろしまそだち”の普及啓発を行い、地産地消を推進した。</p> <p>(ア) 普及啓発活動</p> <p>a 情報誌「ひろしまそだちだより22号」の発行 協議会員、関係機関などへ配布 3,000部</p> <p>b 「ひろしまフードフェスティバル2015」での産品PR</p> <p>c ホームページによる情報発信</p> <p>(イ) 推進体制の強化</p> <p>a “ひろしまそだち”地産地消推進協議会の開催 1回</p> <p>b “ひろしまそだち”野菜アドバイザー育成・支援 料理教室などで市民へ“ひろしまそだち”の普及啓発を行う野菜アドバイザーの研修と修了生の活動支援を行った。</p> <p>(a) 8期生研修 7人 コマツナの収穫体験と鮮度比較など 10回</p> <p>(b) 9期生公募 休止</p> <p>(c) 活動支援（対象者：1～7期生58人） “ひろしまそだち”普及啓発用のコマツナ、ミズナ、葉ネギなどの野菜提供 6回</p> <p>c “ひろしまそだち”地産地消協力店 “ひろしまそだち”産品を積極的に取り扱う小売・飲食店の登録を行った。</p> <p>※ 登録数 42店舗（新規3店舗）</p> <p>d “ひろしまそだち”地産地消サポーター “ひろしまそだち”を通じた地産地消の推進に賛同する市民をサポーター登録した。</p> <p>※ 登録数 675人（新規45人）</p> <p>(ウ) ひろしま朝市の支援 地産地消と都市農村交流を推進する朝市の開催支援を行った。</p> <p>a 開催状況</p> <table border="1" data-bbox="592 1715 1315 1935"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>開催回数</th> <th>来客数</th> <th>出店数</th> <th>販売額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年間</td> <td>49回</td> <td>13,939人</td> <td>684店</td> <td>15,385,320円</td> </tr> <tr> <td>1回 当り</td> <td>—</td> <td>284人</td> <td>14店</td> <td>313,986円</td> </tr> </tbody> </table> <p>b イベント開催 4回</p>	区分	開催回数	来客数	出店数	販売額	年間	49回	13,939人	684店	15,385,320円	1回 当り	—	284人	14店	313,986円	千円 3,293
区分	開催回数	来客数	出店数	販売額													
年間	49回	13,939人	684店	15,385,320円													
1回 当り	—	284人	14店	313,986円													

区 分	事 業 内 容 等	決算額
普及啓発	<p>食農推進 市民へ「食」と「農」の大切さの啓発を行った。</p> <p>(ア) 食農体験推進 農業振興センターで、栽培から収穫、調理・試食までの体験会を行った。</p> <p>a おいしい枝豆の食農体験 3回 延べ22人 b シュンギクの食農体験 2回 延べ25人</p> <p>(イ) 食農コーディネーター活動支援 食農体験等の企画・運営に携わる市民ボランティアの育成と修了生の活動支援を行った。</p> <p>1～7期生 38人 a フォローアップ研修会及び体験会 6回 延べ30人 b “ひろしまそだち”の普及啓発用の野菜提供 コマツナ、ミズナ、葉ネギなど 5回</p>	千円 89
	<p>広島市アグリ人材バンク 農業・農村振興にかかる優れた技能を指導できる人材の発掘・登録を行った。</p> <p>※ 登録30人(新規2人)</p>	千円 16
	<p>市民参加の森林づくり 市民が森林づくりの運動に自発的に参加するよう、技術の修得や機会の提供を行った。</p> <p>(ア) 「もりメイト」育成 市民参加の森林づくりの先導的役割を果たすボランティアを育成するため、森林に関する知識や林業技術習得に係る講習会を開催した。</p> <p>a 20期生募集・選考 応募 30人、選考 30人 b 20期生講習 30人 下刈り、間伐、植林、枝打ちなど 8回</p> <p>(イ) チェーンソー等の特別講習 チェーンソー及び刈払機を使用する伐木等の業務に係る法定特別講習を開催した。</p> <p>a チェーンソー 2日間 26人 b 刈払機 1日間 28人</p> <p>(ウ) ひろしま100年の森育成事業 a バットの森「植樹祭」 市内の少年野球チームに所属する選手たちがバットの原材料となるアオダモの植樹を行った。</p> <p>12月12日(土) 植樹本数 67本 参加者 少年野球チーム選手 61人 保護者等 52人 カーブ球団選手 2人 里山整備士 14人</p>	千円 —

区 分	事 業 内 容 等	決算額
普及啓発	<p>b みどりの里親制度等 森林公園において、平成23年度から26年度に植樹したドングリの保育管理を行った。</p> <p>(エ) 森の訪問者活動支援 森林の整備活動を支援するため、活動を行う団体に対し、道具や安全具の貸出しを行った。 貸出回数 11回(8団体) 貸出個数 延べ1,093個</p> <p>(オ) ひろしま「森の市」の開催 市民の森林や林業への理解を深めるため、森林ボランティア団体の活動紹介や、木製品や森の産物の展示販売などを支援するイベントを実施した。 11月3日(祝) 森林公園 (入園者数4,308人) 参加団体 14団体</p> <p>(カ) みどりの少年団育成 小学校高学年を対象に、自然への理解や愛護心を養うため、森林などに生息する植物や動物についての観察学習を行った。 a 団員 49人(小学4～6年生・少年団OB・OG) b 活動 植物観察など 12回 延べ406人</p>	—
	<p>里山整備士養成講座 里山の再生・整備を、市民ボランティアと地域住民が協働で行う際の指導役を担う「里山整備士」を養成した。(研修期間2年)</p> <p>(ア) 10期生2年目実践講座 5人 10回 測量、計画作成、整備実習などを、安佐動物公園モリアオガエル池周辺で行った。</p> <p>(イ) フォローアップ研修 測量実習、再整備、植物研修 4回 延べ38人</p> <p>(ウ) 未利用材搬出研修 ポータブルウインチを利用した集材・搬出等 5人 17回</p>	千円 1,104
	<p>「ひろしま農林水産振興ニュース」の発行 農林漁業者や市民に対し、本財団の業務紹介などを行い、農林水産業の理解促進を図った。 年2回発行 7月(第45号)、3月(第46号) 農家、関係機関などへ第45号13,000部、第46号12,000部を配布した。</p>	千円 196

区 分	事 業 内 容 等	決算額
体験活動	<p>花みどり公園（指定管理業務） 公園内の諸施設の管理運営を行うとともに、園内の花木などを活用して、花や緑への興味や知識を深める講習会などを開催した。</p> <p>(ア) 施設の維持管理 施設等の保守点検や維持補修を行った。 敷地面積 92,503㎡、 管理棟、ガラス温室など 4棟</p> <p>(イ) 施設の運営状況 a 入園者数 85,370人 b 駐車台数 30,480台 c ドッグランの利用者数 10,465人</p> <p>(ウ) 講習会等の開催 a 「2015春のシャクナゲふれあい祭り」 4月18日(土)～5月6日(休) 19日間 入園者数 14,600人 (a) シャクナゲ展 (b) 花みどり公園めぐり（園内案内・説明）88人 (c) 花苗の無料配布 4月29日(祝) 500鉢</p> <p>b 園芸教室の開催 コケ玉づくり 4回、ガーデニング 3回、 庭木の管理等 7回、シャクナゲ講座 6回 全20回 延べ322人</p> <p>c 食農体験教室の開催 ブルーベリージャム作り 4回、しめ縄作り 2回 全6回 延べ213人</p> <p>(エ) 花みどり公園ファンクラブの活動 植替え・除草や剪定などの園内管理 登録者数 40人 122日 延べ1,025人</p>	千円 28,341
	<p>ひろしま市民の里@安佐 野菜づくりや里山づくりなどの農林業体験を通じて、自然にふれあい、交流する機会を提供した。</p> <p>(ア) 農林業体験参加者の募集・登録(登録者数 200人)</p> <p>(イ) 農地の維持、管理(田 28a、畑 26a)</p> <p>(ウ) 農林業等体験(309日 延べ 1,832人)</p> <p>a 農林産物の栽培 ダイズ、ソバ、サツマイモなど 48品目</p> <p>b 食文化体験 豆腐作り、餅つき、そば打ちなど12品目</p> <p>c 里山林の手入れ体験</p> <p>d 自然観察会 3回</p> <p>(エ) 運営協議会の開催 1回</p>	千円 6,460

区 分	事 業 内 容 等	決算額							
体験活動	<p>広島市市民体験農園 農家が開園した市民体験農園の入園事務を行うとともに、管理指導者の活動支援を行った。</p> <p>2農園（安佐北区勝木、佐伯区石内） 共同体験エリア 75組分 （受入62組、82.7%） 個人体験エリア 111区画 （入園99区画、89.2%）</p> <p>（ア）入園事務 入園者の募集・貸付契約事務 （イ）管理指導者の活動支援 定期的講習会への参加案内</p>	千円 2,863							
	<p>広島市市民菜園 農家が開園した市民菜園の管理運営等を行った。</p> <p>40菜園 2,571区画 （入園2,327区画、90.5%）</p> <p>（ア）入園事務 入園者の募集、貸付契約事務 （イ）施設の維持管理 ポンプ等附帯設備の修繕、空き区画の管理など （ウ）栽培講習会 8回 延べ189人（4か所で開催）</p> <table border="1" data-bbox="630 1176 1193 1317"> <thead> <tr> <th>実施月</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5月</td> <td>果菜類の栽培</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>秋冬野菜の栽培</td> </tr> </tbody> </table>		実施月	内 容	5月	果菜類の栽培	8月	秋冬野菜の栽培	
	実施月		内 容						
5月	果菜類の栽培								
8月	秋冬野菜の栽培								
<p>広島市市民農園（指定管理業務） 市民農園の管理運営を行い、野菜などの栽培の場を提供するとともに、地域住民主権の行事などの実施により都市農村交流を推進した。</p> <p>（ア）入園事務 入園者の募集・貸付契約事務、利用料金の徴収 （イ）施設の維持管理 附帯設備の修繕、空き区画の管理など</p> <p>a 三田市民農園 農園 5,500㎡ 112区画 管理棟 1棟 （入園78区画、69.6%）</p> <p>b 見張市民農園 農園 8,650㎡ 178区画 管理棟 1棟 （入園65区画、36.5%）</p> <p>c 三国市民農園 農園 3,375㎡ 137区画 （入園116区画、84.7%）</p>	千円 10,021								

区 分	事 業 内 容 等	決算額
体験活動	<p>(ウ) 都市農村交流会、講習会などの実施</p> <p>a 三田市民農園 8回 延べ182人 栽培講習会2回、収穫祭、キムチ作りなど</p> <p>b 見張市民農園 23回 延べ956人 栽培講習会2回、収穫祭、おためし区画講習会3回、食農区画サツマイモ植付・掘り取り体験など</p> <p>c 三国市民農園 3回 延べ113人 栽培講習会2回、収穫祭</p> <p>(エ) 管理組織の活動支援</p> <p>施設の管理運営及び集客・活性化の検討</p> <p>a 三田市民農園 4回</p> <p>b 見張市民農園 12回</p> <p>c 三国市民農園 1回</p>	—
太田川源流の森整備	<p>太田川源流の森整備</p> <p>広島市水道局の所有する森林（廿日市市吉和、面積354.92ha）について、水源かん養機能を保全するため、「太田川源流の森整備基本計画」に基づく森林管理を行った。</p> <p>(ア) 森林整備管理</p> <p>下刈 2.84ha 除伐 0.94ha 間伐 6.39ha 合計 10.17ha</p> <p>管理歩道維持補修 2箇所 境界歩道下刈 0.18ha</p> <p>(イ) 普及啓発</p> <p>水源かん養の重要性を広く啓発するため、市民が行う森林保全活動（間伐）をサポートした。</p> <p>活動場所の下刈 1.78ha 除伐 0.91ha</p>	千円 5,130

ウ 水産業の調査及び試験研究並びに普及啓発（公益目的事業3）

34,436,297円

区分	事業内容等	決算額																																																						
調査及び試験研究	<p>漁業技術の普及指導等（指定管理業務） 水産資源の確保及び漁業生産の増大を図るため、次の事業を行った。</p> <p>(ア) カキ養殖に関する調査及び指導 カキ養殖に関する諸調査を行い、その結果をもとに養殖指導を行った。 指導件数 1,579件 （うち来場・現場指導 1,261件）</p> <p>a カキ採苗調査 広島県や関係市と連携し、カキ採苗についての調査を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>調査期間</th> <th>調査地点</th> <th>調査回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幼生調査</td> <td>6月～9月</td> <td>17地点</td> <td>50回</td> </tr> <tr> <td>種見調査</td> <td>6月～9月</td> <td>20地点</td> <td>59回</td> </tr> </tbody> </table> <p>b 害敵生物調査 カキの成育不良を引き起こすムラサキイガイなどについて調査を実施した。</p> <p>(a) ムラサキイガイ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>調査期間</th> <th>調査地点</th> <th>調査回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">幼生調査</td> <td>4月～6月</td> <td rowspan="2">6地点</td> <td rowspan="2">42回</td> </tr> <tr> <td>1月～3月</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">付着調査</td> <td>4月～6月</td> <td rowspan="2">11地点</td> <td rowspan="2">34回</td> </tr> <tr> <td>2月～3月</td> </tr> </tbody> </table> <p>(b) 稚ガキ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>調査期間</th> <th>調査地点</th> <th>調査回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>付着調査</td> <td>9月～11月</td> <td>5地点</td> <td>8回</td> </tr> </tbody> </table> <p>(c) アカフジツボ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>調査期間</th> <th>調査地点</th> <th>調査回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>付着調査</td> <td>9月～10月</td> <td>3地点</td> <td>3回</td> </tr> </tbody> </table> <p>c 出荷サイズ調査 カキの成育状況、出荷動向などを把握するための調査を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>調査期間</th> <th>対象者数</th> <th>調査件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月～5月、10月～3月</td> <td>9経営体</td> <td>56件</td> </tr> </tbody> </table> <p>d カキ養殖技術研修会 今年度のカキ採苗に関する展望やムラサキイガイの付着状況などについて研修会を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>回数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カキ採苗研修会</td> <td>5回</td> <td>46人</td> </tr> </tbody> </table>	区分	調査期間	調査地点	調査回数	幼生調査	6月～9月	17地点	50回	種見調査	6月～9月	20地点	59回	区分	調査期間	調査地点	調査回数	幼生調査	4月～6月	6地点	42回	1月～3月	付着調査	4月～6月	11地点	34回	2月～3月	区分	調査期間	調査地点	調査回数	付着調査	9月～11月	5地点	8回	区分	調査期間	調査地点	調査回数	付着調査	9月～10月	3地点	3回	調査期間	対象者数	調査件数	4月～5月、10月～3月	9経営体	56件	区分	回数	人数	カキ採苗研修会	5回	46人	千円 1,411
区分	調査期間	調査地点	調査回数																																																					
幼生調査	6月～9月	17地点	50回																																																					
種見調査	6月～9月	20地点	59回																																																					
区分	調査期間	調査地点	調査回数																																																					
幼生調査	4月～6月	6地点	42回																																																					
	1月～3月																																																							
付着調査	4月～6月	11地点	34回																																																					
	2月～3月																																																							
区分	調査期間	調査地点	調査回数																																																					
付着調査	9月～11月	5地点	8回																																																					
区分	調査期間	調査地点	調査回数																																																					
付着調査	9月～10月	3地点	3回																																																					
調査期間	対象者数	調査件数																																																						
4月～5月、10月～3月	9経営体	56件																																																						
区分	回数	人数																																																						
カキ採苗研修会	5回	46人																																																						

区分	事業内容等	決算額																																	
調査及び試験研究	<p>(イ) ノリ、ワカメ養殖に関する調査及び指導 養殖海域の環境及び生育状況を調査し、養殖の技術指導及び研修会を行った。</p> <table border="1" data-bbox="627 309 1289 405"> <tr> <td>調査期間</td> <td>調査地点</td> <td>指導件数</td> </tr> <tr> <td>11月～2月</td> <td>8地点</td> <td>138件</td> </tr> </table> <p>研修会</p> <table border="1" data-bbox="627 450 1310 593"> <tr> <td>区分</td> <td>回数</td> <td>人数</td> </tr> <tr> <td>ノリ養殖研修会</td> <td>1回</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>ワカメ養殖研修会</td> <td>1回</td> <td>13人</td> </tr> </table> <p>(ウ) 魚介類に関する指導</p> <p>a 操業海域の環境調査結果などを活用して、漁ろう漁業者に指導を行った。指導件数 384件</p> <p>b 被覆網による食害防止などのアサリ資源増殖に関する指導を行った。指導件数 90件</p> <p>(エ) 漁場環境の調査</p> <p>a カキ漁場環境調査 広島湾北部海域及び大黒神島海域において、カキ養殖に大きな影響を及ぼす水温やプランクトンなどの調査を行った。</p> <table border="1" data-bbox="627 1043 1289 1232"> <tr> <td>調査地点数</td> <td>8地点</td> </tr> <tr> <td>調査回数</td> <td>111回 (4月～3月)</td> </tr> <tr> <td>調査内容</td> <td>水温、塩分、溶存酸素量、プランクトン沈澱量・組成等</td> </tr> </table> <p>b 広島湾底質調査 広島湾北部海域の底質の状態を把握するため、全硫化物量などの調査を行った。</p> <table border="1" data-bbox="627 1366 1289 1509"> <tr> <td>調査地点数</td> <td>3地点</td> </tr> <tr> <td>調査回数</td> <td>2回 (8月、2月)</td> </tr> <tr> <td>調査内容</td> <td>全硫化物量、泥色、泥温等</td> </tr> </table> <p>(オ) 漁場環境の変化への対応 有害プランクトン調査 魚介類のへい死や二枚貝の毒化を引き起こす恐れがある有害プランクトンの発生状況を把握するため、原因プランクトンの調査を実施した。</p> <table border="1" data-bbox="627 1733 1289 1877"> <tr> <td>調査地点数</td> <td>3地点</td> </tr> <tr> <td>調査回数</td> <td>8回 (4月、5月、7月、8月)</td> </tr> <tr> <td>調査内容</td> <td>有害プランクトンの種類・密度</td> </tr> </table> <p>(カ) 地元産品の直販指導 ひろしま朝市などで漁業者自らが実施する地場産魚介類の販売活動等の指導を行い、地産地消の推進を図った。</p>	調査期間	調査地点	指導件数	11月～2月	8地点	138件	区分	回数	人数	ノリ養殖研修会	1回	8人	ワカメ養殖研修会	1回	13人	調査地点数	8地点	調査回数	111回 (4月～3月)	調査内容	水温、塩分、溶存酸素量、プランクトン沈澱量・組成等	調査地点数	3地点	調査回数	2回 (8月、2月)	調査内容	全硫化物量、泥色、泥温等	調査地点数	3地点	調査回数	8回 (4月、5月、7月、8月)	調査内容	有害プランクトンの種類・密度	-
調査期間	調査地点	指導件数																																	
11月～2月	8地点	138件																																	
区分	回数	人数																																	
ノリ養殖研修会	1回	8人																																	
ワカメ養殖研修会	1回	13人																																	
調査地点数	8地点																																		
調査回数	111回 (4月～3月)																																		
調査内容	水温、塩分、溶存酸素量、プランクトン沈澱量・組成等																																		
調査地点数	3地点																																		
調査回数	2回 (8月、2月)																																		
調査内容	全硫化物量、泥色、泥温等																																		
調査地点数	3地点																																		
調査回数	8回 (4月、5月、7月、8月)																																		
調査内容	有害プランクトンの種類・密度																																		

区 分	事 業 内 容 等	決算額																														
調査及び試験研究	<table border="1" data-bbox="627 224 1310 362"> <thead> <tr> <th data-bbox="627 224 895 268">イベント</th> <th data-bbox="895 224 1310 268">販売品目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="627 268 895 362">ひろしま朝市など 9イベント</td> <td data-bbox="895 268 1310 362">カキ、鮮魚、ワカメ、ノリ、 シジミなど</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="576 374 786 405">(キ) 情報の提供</p> <p data-bbox="619 421 1297 495">カキ採苗調査や漁場環境調査結果等を取りまとめ、広島市内の漁業団体をはじめ、関係者に情報提供した。</p> <table border="1" data-bbox="627 501 1139 732"> <thead> <tr> <th data-bbox="627 501 951 546">区 分</th> <th data-bbox="951 501 1139 546">提供件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="627 546 951 591">カキ養殖情報</td> <td data-bbox="951 546 1139 591">170件</td> </tr> <tr> <td data-bbox="627 591 951 636">ノリ、ワカメ養殖情報</td> <td data-bbox="951 591 1139 636">4件</td> </tr> <tr> <td data-bbox="627 636 951 680">海況情報</td> <td data-bbox="951 636 1139 680">14件</td> </tr> <tr> <td data-bbox="627 680 951 732">合 計</td> <td data-bbox="951 680 1139 732">188件</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="576 743 1094 775">(ク) シジミ資源増殖に関する調査・研究</p> <p data-bbox="619 790 1329 911">太田川におけるシジミ資源量を把握するための調査を実施した。また、シジミ資源を増大させるための取組みを漁業者とともに実施し、その効果検証を図った。</p> <p data-bbox="635 927 927 958">a シジミ資源状況調査</p> <p data-bbox="635 974 1329 1048">太田川下流域のシジミ漁場におけるシジミの資源状況、水温及び塩分濃度の調査を実施した。</p> <table border="1" data-bbox="627 1055 1082 1149"> <tbody> <tr> <td data-bbox="627 1055 874 1099">調査時期</td> <td data-bbox="874 1055 1082 1099">5月、10月</td> </tr> <tr> <td data-bbox="627 1099 874 1149">調査地点数</td> <td data-bbox="874 1099 1082 1149">27地点</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="639 1162 1153 1193">b ネット被覆による食害防止の効果検証</p> <p data-bbox="639 1209 1318 1283">漁業者の協力のもと、三重県産の種苗を被覆網により保護し、その効果を検証した。</p> <table border="1" data-bbox="635 1290 1313 1429"> <tbody> <tr> <td data-bbox="635 1290 799 1335">試験期間</td> <td data-bbox="799 1290 1313 1335">5月～3月</td> </tr> <tr> <td data-bbox="635 1335 799 1429">試験結果</td> <td data-bbox="799 1335 1313 1429">放流直後の減耗が大きく、最終的な生存率は11%となった。</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="639 1442 895 1473">c 人工種苗成育試験</p> <p data-bbox="639 1489 1318 1610">種苗生産試験で生産した種苗について、川砂を入れた塩ビ管又はネット袋に收容し、生残状況の調査を太田川で実施した。</p> <table border="1" data-bbox="635 1617 1313 1756"> <tbody> <tr> <td data-bbox="635 1617 799 1662">試験期間</td> <td data-bbox="799 1617 1313 1662">10月～3月</td> </tr> <tr> <td data-bbox="635 1662 799 1756">試験結果</td> <td data-bbox="799 1662 1313 1756">2週間毎に生残状況等を調査した結果、生残率はほぼ100%であった。</td> </tr> </tbody> </table> <p data-bbox="639 1769 842 1800">d 天然採苗試験</p> <p data-bbox="639 1816 1318 1937">産卵期前の7月末に、幼生が滞留しやすいと思われる場所に採苗器6基を設置し、天然採苗の効率的な手法を検討した。</p> <table border="1" data-bbox="635 1944 1313 2080"> <tbody> <tr> <td data-bbox="635 1944 799 1989">試験期間</td> <td data-bbox="799 1944 1313 1989">7月～11月</td> </tr> <tr> <td data-bbox="635 1989 799 2080">試験結果</td> <td data-bbox="799 1989 1313 2080">計365個体の種苗（平均殻長1.8mm）を確保した。</td> </tr> </tbody> </table>	イベント	販売品目	ひろしま朝市など 9イベント	カキ、鮮魚、ワカメ、ノリ、 シジミなど	区 分	提供件数	カキ養殖情報	170件	ノリ、ワカメ養殖情報	4件	海況情報	14件	合 計	188件	調査時期	5月、10月	調査地点数	27地点	試験期間	5月～3月	試験結果	放流直後の減耗が大きく、最終的な生存率は11%となった。	試験期間	10月～3月	試験結果	2週間毎に生残状況等を調査した結果、生残率はほぼ100%であった。	試験期間	7月～11月	試験結果	計365個体の種苗（平均殻長1.8mm）を確保した。	-
イベント	販売品目																															
ひろしま朝市など 9イベント	カキ、鮮魚、ワカメ、ノリ、 シジミなど																															
区 分	提供件数																															
カキ養殖情報	170件																															
ノリ、ワカメ養殖情報	4件																															
海況情報	14件																															
合 計	188件																															
調査時期	5月、10月																															
調査地点数	27地点																															
試験期間	5月～3月																															
試験結果	放流直後の減耗が大きく、最終的な生存率は11%となった。																															
試験期間	10月～3月																															
試験結果	2週間毎に生残状況等を調査した結果、生残率はほぼ100%であった。																															
試験期間	7月～11月																															
試験結果	計365個体の種苗（平均殻長1.8mm）を確保した。																															

区 分	事 業 内 容 等	決算額																																										
調査及び試験研究	<p>つくり育てる漁業の推進（指定管理業務） 水産資源の維持増大を図り、新鮮な魚介類を安定的に供給するため、次の事業を行った。</p> <p>(ア) 種苗生産 次のとおり種苗を生産し、広島市に引き渡した。</p> <table border="1" data-bbox="628 405 1315 779"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>生産計画</th> <th>生産結果</th> <th>大きさ等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ガザミ</td> <td>20万尾</td> <td>22.1万尾</td> <td>稚ガニ 3令以上</td> </tr> <tr> <td>マコガレイ</td> <td>10万尾</td> <td>12.8万尾</td> <td>30mm以上</td> </tr> <tr> <td>オニオコゼ</td> <td>3万尾</td> <td>3.0万尾</td> <td>40mm以上</td> </tr> <tr> <td>アイナメ</td> <td>1万尾</td> <td>2.0万尾※¹</td> <td>60mm以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1 平成27年4月引渡し分1.0万尾と平成28年3月引渡し分1.0万尾の合計</p> <p>(イ) ヤマトシジミ種苗生産試験及び技術指導 シジミ資源の増大に向け、種苗生産方法の改良を行うとともに、各種試験・研究や漁業者への技術指導等を行った。</p> <p>また、太田川産のヤマトシジミを用い、種苗生産試験を行った。</p> <table border="1" data-bbox="636 1144 1315 1283"> <tbody> <tr> <td>試験期間</td> <td>7月～10月</td> </tr> <tr> <td>試験結果</td> <td>殻長0.8mm～2.9mmの種苗を186万個生産した。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(ウ) 種苗放流指導 漁業関係者を対象に、種苗放流、栽培漁業技術などの指導や研修会を行った。</p> <table border="1" data-bbox="628 1420 1315 1559"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>回数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>種苗放流指導</td> <td>22回</td> <td>延べ111人</td> </tr> <tr> <td>アユ種苗生産技術指導</td> <td>9回</td> <td>延べ9人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(エ) 種苗放流効果調査（オニオコゼ） オニオコゼの標識放流魚の混入率調査を行い、種苗放流効果の評価を行った。</p> <table border="1" data-bbox="628 1697 1315 1883"> <tbody> <tr> <td>調査時期</td> <td>3月</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">調査結果</td> <td>標識率</td> <td>1/3</td> </tr> <tr> <td>標識放流魚の混入率</td> <td>8%</td> </tr> <tr> <td>放流魚の割合推定率</td> <td>24%</td> </tr> </tbody> </table>	種 類	生産計画	生産結果	大きさ等	ガザミ	20万尾	22.1万尾	稚ガニ 3令以上	マコガレイ	10万尾	12.8万尾	30mm以上	オニオコゼ	3万尾	3.0万尾	40mm以上	アイナメ	1万尾	2.0万尾※ ¹	60mm以上	試験期間	7月～10月	試験結果	殻長0.8mm～2.9mmの種苗を186万個生産した。	区分	回数	人数	種苗放流指導	22回	延べ111人	アユ種苗生産技術指導	9回	延べ9人	調査時期	3月	調査結果	標識率	1/3	標識放流魚の混入率	8%	放流魚の割合推定率	24%	千円 31,503
種 類	生産計画	生産結果	大きさ等																																									
ガザミ	20万尾	22.1万尾	稚ガニ 3令以上																																									
マコガレイ	10万尾	12.8万尾	30mm以上																																									
オニオコゼ	3万尾	3.0万尾	40mm以上																																									
アイナメ	1万尾	2.0万尾※ ¹	60mm以上																																									
試験期間	7月～10月																																											
試験結果	殻長0.8mm～2.9mmの種苗を186万個生産した。																																											
区分	回数	人数																																										
種苗放流指導	22回	延べ111人																																										
アユ種苗生産技術指導	9回	延べ9人																																										
調査時期	3月																																											
調査結果	標識率	1/3																																										
	標識放流魚の混入率	8%																																										
	放流魚の割合推定率	24%																																										

区 分	事 業 内 容 等	決算額							
調査及び試験研究	<p>(オ) 施設等の維持管理</p> <p>施設などを良好に保つため、保守点検、維持補修を行った。</p> <p>広島市水産振興センター</p> <p>敷地面積 9,958㎡</p> <p>本館棟、ガザミ槽棟、飼育棟など 15棟</p> <p>指導船 (第九市水丸、なきり丸、つくね)</p>	—							
	<p>水産資源に関する調査 (指定管理業務)</p> <p>資源量や漁獲魚種を把握し、漁業指導の基礎資料とするため、次の調査を行った。</p> <p>(ア) アサリの漁場別生息・成育等調査</p> <p>広島市海域のアサリの漁場別生息・成育状況などの調査を行った。</p> <table border="1" data-bbox="608 891 1082 987"> <tr> <td>調査時期</td> <td>4月</td> </tr> <tr> <td>調査地点数</td> <td>4地点</td> </tr> </table> <p>(イ) 魚介類の漁獲実態についての聴き取り調査</p> <p>漁ろう漁業者から、漁獲状況などについて随時聴き取りを行った。</p> <table border="1" data-bbox="608 1122 1082 1218"> <tr> <td>調査時期</td> <td>通年</td> </tr> <tr> <td>調査回数</td> <td>84回</td> </tr> </table>	調査時期	4月	調査地点数	4地点	調査時期	通年	調査回数	84回
調査時期	4月								
調査地点数	4地点								
調査時期	通年								
調査回数	84回								
普及啓発	<p>水産業に対する理解の促進 (指定管理業務)</p> <p>水産業への理解の促進を図るため、連携協定を締結した大学や漁業団体の協力を得ながら、次の事業を行った。</p> <p>(ア) 海辺の教室</p> <p>魚と漁業に関する学習会の開催</p> <p>11回 参加者 159組 416人</p> <p>(イ) イベントの開催</p> <p>a わくわく！漁業体験</p> <p>11月に漁業団体との共催により、小学3～6年生の児童とその保護者を対象にした漁業体験や、アサリなどの試食による魚食普及、消費拡大のためのイベントを開催した。</p> <p>来場者数 約600人</p> <p>b 広島市水産まつり</p> <p>漁業団体が2月に開催した「広島市水産まつり」に協賛し、施設を公開するなど、「広島市の漁業」や「つくり育てる漁業」などに関する市民への理解を深めた。</p> <p>来場者数 約11,000人</p>	千円 1,514							

区 分	事 業 内 容 等	決算額
普及啓発	<p>(ウ) 広島かき子ども体験隊 漁業団体との共催により、参加者が一連のカキ養殖作業を実際に行う体験事業を行った。 3回 参加者 15組30人</p> <p>(エ) 海と漁業の体験スクール 市内の小学校や子供会などに対し、カキ打ち体験や種苗の放流体験を行った。 12回 参加者 754人</p> <p>(オ) 施設の一般公開 資料展示室を公開するとともに、小中学校などの団体に対して、カキ養殖等の学習会を行うとともに種苗生産施設の案内及び説明などを行った。 来館者数 21,240人 団体数 145団体</p> <p>(カ) 水産知識の情報提供 インターネットなどにより、水産業及び水産生物に関する情報提供を行うとともに、依頼に応じて講師を派遣し、研修会を開催した。 a ホームページアクセス件数 16,116件 b メールマガジン発行 4回 配信件数 497件 c 講師派遣 2回 受講者 124人</p>	—

(2) 収益事業等

19,288,192円

次のとおり収益事業等を実施した。

区 分	事 業 内 容 等	決算額																																																																							
畜産振興及び 家畜診療等事業 (その他の事業1)	<p>畜産振興及び家畜診療</p> <p>市民に安全・安心・新鮮な畜産物を供給するため、畜産農家に対して指導を行った。</p> <p>(ア) 畜産振興</p> <p>畜産農家への巡回指導を行い生産意欲の高揚と飼養技術の向上により、農家経営の安定を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>戸数</th> <th>件数</th> <th>指 導 内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>酪農振興</td> <td>12戸</td> <td>726件</td> <td>飼養管理技術指導、良質堆肥作製のための情報提供など</td> </tr> <tr> <td>肉用牛振興</td> <td>20戸</td> <td>331件</td> <td>改良増殖指導、耕作放棄地への和牛放牧普及啓発など</td> </tr> <tr> <td>中小家畜振興</td> <td>3戸</td> <td>13件</td> <td>衛生管理指導、感染症予防の情報提供など</td> </tr> </tbody> </table> <p>(イ) 家畜診療</p> <p>疾病の発生予防と早期発見に努め適切な診療により農家経営の安定を図った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>家畜診療</th> <th>無血去勢・除角</th> <th>人工授精</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>679件</td> <td>38件</td> <td>267件</td> <td>984件</td> </tr> </tbody> </table> <p>家畜の改良、増殖（指定管理業務）</p> <p>乳用牛・和牛の生産振興、産地育成のため、受精卵移植技術を採用し、農家経営の安定を図った。</p> <p>(ア) 採卵</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>採卵回数</th> <th>採卵個数</th> <th>正常卵数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>乳用牛</td> <td>1回</td> <td>0個</td> <td>0個</td> </tr> <tr> <td>和牛</td> <td>10回</td> <td>38個</td> <td>21個</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>11回</td> <td>38個</td> <td>21個</td> </tr> </tbody> </table> <p>(イ) 移植</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>供卵牛</th> <th>受卵牛</th> <th>移植件数(A)</th> <th>受胎未確認件数(B)</th> <th>受胎件数(C)</th> <th>受胎率 C/(A-B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>乳牛</td> <td>乳牛</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">和牛</td> <td>乳牛</td> <td>20件</td> <td>※3件</td> <td>8件</td> <td>47.1%</td> </tr> <tr> <td>和牛</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td> <td>20件</td> <td>※3件</td> <td>8件</td> <td>47.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※は平成28年3月末までに妊娠鑑定できなかった件数</p>	区分	戸数	件数	指 導 内 容	酪農振興	12戸	726件	飼養管理技術指導、良質堆肥作製のための情報提供など	肉用牛振興	20戸	331件	改良増殖指導、耕作放棄地への和牛放牧普及啓発など	中小家畜振興	3戸	13件	衛生管理指導、感染症予防の情報提供など	区分	家畜診療	無血去勢・除角	人工授精	合計	件数	679件	38件	267件	984件	区分	採卵回数	採卵個数	正常卵数	乳用牛	1回	0個	0個	和牛	10回	38個	21個	計	11回	38個	21個	供卵牛	受卵牛	移植件数(A)	受胎未確認件数(B)	受胎件数(C)	受胎率 C/(A-B)	乳牛	乳牛	0件	0件	0件	0%	和牛	乳牛	20件	※3件	8件	47.1%	和牛	0件	0件	0件	0%	合 計		20件	※3件	8件	47.1%	千円 6,684
区分	戸数	件数	指 導 内 容																																																																						
酪農振興	12戸	726件	飼養管理技術指導、良質堆肥作製のための情報提供など																																																																						
肉用牛振興	20戸	331件	改良増殖指導、耕作放棄地への和牛放牧普及啓発など																																																																						
中小家畜振興	3戸	13件	衛生管理指導、感染症予防の情報提供など																																																																						
区分	家畜診療	無血去勢・除角	人工授精	合計																																																																					
件数	679件	38件	267件	984件																																																																					
区分	採卵回数	採卵個数	正常卵数																																																																						
乳用牛	1回	0個	0個																																																																						
和牛	10回	38個	21個																																																																						
計	11回	38個	21個																																																																						
供卵牛	受卵牛	移植件数(A)	受胎未確認件数(B)	受胎件数(C)	受胎率 C/(A-B)																																																																				
乳牛	乳牛	0件	0件	0件	0%																																																																				
和牛	乳牛	20件	※3件	8件	47.1%																																																																				
	和牛	0件	0件	0件	0%																																																																				
合 計		20件	※3件	8件	47.1%																																																																				

区 分	事 業 内 容 等	決算額																
水産物の増養殖 推進事業 (その他の事業2)	<p>つくり育てる漁業の推進（指定管理業務） 内水面漁業及び海面養殖業の振興を図るため、種苗を生産し、広島市に引き渡した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>生産計画</th> <th>生産結果</th> <th>大きさ等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アユ</td> <td>70万尾</td> <td>73.3万尾</td> <td>0.5g以上</td> </tr> <tr> <td>モクズガニ</td> <td>40万尾</td> <td>57.1万尾</td> <td>稚ガニ 1令以上</td> </tr> <tr> <td>ワカメ</td> <td>種糸 7,000m</td> <td>種糸 7,900m</td> <td>幼芽3mm以上</td> </tr> </tbody> </table>	種 類	生産計画	生産結果	大きさ等	アユ	70万尾	73.3万尾	0.5g以上	モクズガニ	40万尾	57.1万尾	稚ガニ 1令以上	ワカメ	種糸 7,000m	種糸 7,900m	幼芽3mm以上	千円 12,221
種 類	生産計画	生産結果	大きさ等															
アユ	70万尾	73.3万尾	0.5g以上															
モクズガニ	40万尾	57.1万尾	稚ガニ 1令以上															
ワカメ	種糸 7,000m	種糸 7,900m	幼芽3mm以上															
自動販売機設置 事業 (収益事業)	<p>自動販売機設置 管理施設に自動販売機を設置し、設置業者から販売手数料を受け取った。</p> <p>設置場所</p> <p>農業振興センター 1台 水産振興センター 1台 花みどり公園 2台 三田市民農園 1台 見張市民農園 1台</p>	千円 383																

7 無償使用貸借資産

事業を実施するにあたって、広島市から無償使用貸借している資産は次のとおりである。

(1) 建物及び土地（平成28年3月31日現在）

名 称	所 在 地	区分	現 在 高
広島市農業振興センター	広島市安佐北区深川八丁目30番12号	建物	事務室等 545.04㎡
広島市農業振興センター安佐分場	広島市安佐北区安佐町大字久地2411番地の1	建物	事務室等 132.496㎡

(2) 物品（平成28年3月31日現在）

区 分	現 在 高	
車両	貨物車	5点
	農耕作業用自動車	1点
合 計	6点	

注：この表は、重要物品として取得価額又は評価価額が100万円以上の物品を記載した。

8 附属明細書

記載すべき事項はない。